

5月27日 「読書に親しもう ―読書は頭と心の貯金箱―」

先週、2年生の代表者が校長室に来て、このような掲示物を持って来て見せてくれました。

先日の学校公開で、道徳の時間に「桜野小のよいところ」について考えたそうです。それを一人一人が桜の花びらに書いて貼ってできたのが、この桜の木です。桜の花びらには「人数が多くて楽しい」「校庭が広い」「給食がおいしい」「やさしい友達や先生がたくさんいる」「野球のユニバースのチームは強い」などたくさんよいところが書いてありました。4本の桜の木が輝いて素敵ですね。体育館の横の廊下に掲示しますので、他の学年の人も見てください。2年生の皆さん、ありがとうございました。

さて、今週から読書旬間が始まります。読書（本を読む）は「心の貯金箱」とも言われています。読書をすることによって、登場人物の気持ちを考えて、嬉しくなったり、悲しくなったりして自分の心が揺れ動きます。また、物語がこの先どのようなようになるのかなとハラハラドキドキ、ワクワクすることもあります。そういう心の動きや感動が、自分の心を豊かにしているのです。今の時代は、アニメや映画など動画を見ることが多くなり、本を読む人が少なくなっていると言われています。実は文字を読む場合と動画を見る場合と、人間の想像力（イメージを膨らませる）どちらが成長するかを研究した結果があります。結果は、文字を読む方が良かったとあります。その理由として、文字を読むことで脳の働きが良くなりイメージを膨らませることができるようになるそうです。また、考える力も高まるそうです。読書は「頭の貯金箱」とも言われ、今まで知らなかったことやためになることを学び、知識を増やすことができます。読書は心にも頭にも栄養を与えてくれます。そして、是非、取り組んでみてほしいことがあります。1つは読書記録をつけて、いろいろなジャンルの本を読んでみることです。簡単にいうと読書の幅を広げるということです。今まで、読んだことがない本も手に取って読んでみてください。新たな発見がたくさんあります。読んだ本の記録をつけるのもためになります。もう一つは、読んだ本のことを友達に紹介してみましょ。その本のよさや魅力を友達に話してみてください。その時には友達が読みたくなるような紹介をしてみましょ。友達をふくめ、みんなが本好きになると良いと思います。

今、学校の図書室は、3年生以上の人は放課後の時間も本を借りたり返したり
できます。また、中休みも、外遊びでない学年は図書室を使うこともできます。
図書委員会の皆さんも楽しい企画を考えているそうです。図書室にいらっしゃ
る学校司書の田村さんにも、本の話聞いてみるとためになります。

たくさんの本との出会いができるといいですね。